



11月になっても、夏日が続き、そして、急激に寒くなった。春と秋が短くなり、四季、美しく変化する日本の自然が、二期に。
このままでは、夏だけになりそう

戦争と環境破壊

殺りくと気候変動
私達は子ども達に何を残そうとしているのだろうか。

降り注ぐ木漏れ日

くるくる舞い落ちる落ち葉の中
子ども達は嬉々として遊んでいる。

街はもうクリスマス飾りに華やいている。
子ども達は、リースづくりや

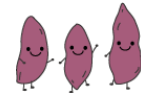
ツリー飾りをして、
サンタが来るのを

ワクワクして待っている。



「やきいも」おいしかった

子ども達が、濡らした新聞紙でさつまいもを包み、その上からアルミホイルでくるんで準備完了。みんなで集めた落ち葉を燃やし、その近くで煙を浴びながら？出来上がるのを待ちました。出来上がったお芋の美味しかったこと。少しづつ大事に食べる子もいましたよ。



今月の予定の中から

●読み聞かせ(5日)

毎月、指導課の宮本先生と栗山先生からは、子ども達が落ち着いて絵本や紙芝居を見ていると言っていたいています。嬉しい成長です。

●尿回収日(6日)

尿検査は、6日の朝の尿の提出をお願いします。お子さんの体調管理の上でも、当日提出が出来るようにご協力よろしくお願いします。

●歯科検診(7日)

当日、10時から歯科検診があります。感染症や発熱の方以外は、検診を受けていただくようお願いいたします。

●発表会(16日)

今年、2部制で行います。I部(ほしぐみ・だいちぐみ)、II部(きりんグループ・ぞうグループ)で各ご家庭保護者2名までの参加をお願いします。詳細は、後日お知らせします。

行事予定表		
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	読み聞かせ/給食費振替日/発表会予行(2・3歳児)
6	水	尿回収日/巡回相談/発表会予行(4・5歳児)
7	木	歯科検診(10:00~)
8	金	冬遊び交流会(5歳児)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	発表会ごっこ
14	木	発表会ごっこ
15	金	
16	土	発表会(2歳児以上参加、2部制)
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	おべんとうデー
21	木	誕生会
22	金	避難訓練
23	土	
24	日	
25	月	クリスマス会
26	火	つつじが丘保育園との交流会(5歳児)
27	水	
28	木	保育納め
29	金	休園
30	土	休園
31	日	休園

●おべんとうデー(20日)

今月も子ども達の大好きなお弁当の準備をどうぞよろしく願います。

●誕生会(21日)

今月も、誕生児をみんなで祝いします。ご家族にとっても、お子さんの誕生日は特別な日ですね。

●クリスマス会(25日)

今年もサンタクロースに手紙を出しました。園内のポストに投函したはずが、次に覗いた時には無くなっていて、子ども達もびっくり！もしかしてサンタさん？クリスマス会当日まで夢見る気持ちを大切にしたいですね。

●つつじが丘保育園との交流(26日)

つつじが丘保育園の園庭で5歳児と一緒に遊び交流を深めます。たくさん遊びたいですね。

●保育納めの日(28日)

子供たちと今年を振り返る話をし、日頃の感謝を込めて、各保育室をみんなで大掃除をします。

★お知らせ☆

・年末・年始は12/29〜1/3まで休園です。

※来年、1/1(木)のお餅つきのつき手の方を募集しますので、お手伝いを頂ける方は、担任までお知らせください。よろしく願います。

★髪ゴムについてのお願ひ。

お子さんの髪ゴムは、ゴム(色は指定なし)のみでお願いします。髪ゴムの飾りが取れて誤飲の恐れがあるシリコンゴム、飾りのついていないゴムはお控え下さい。

「脳はアナログを求め

子どもは実体験で育つ」

今年も残り一ヶ月になってしまった。アット言う間に一年が終わる。年をとると、時の流れが早く感じられるというが、そればかりではないだろう。コスパだの、タイパだのと、効率ばかりを追い求め、心の余裕をなくしている。便利を追い求め、不便になってはいないか。何で

もスマホで手続きするようになり、操作に時間のかかる年寄りには、振り回され、困惑するばかりである。「便利」って何なのか。一家に一台の電話が、一人に一台のスマホになり、通信費は数倍の高額になり、家計を圧迫する。一方で、大手通信、デジタル関連会社ばかりが大儲けしている。新機種が出て、機能が増え続け、高額になる。そして、買い替えを迫られる。家電や車、全てが修理し使い続けることを断られる。そんなに新しくしなければならぬのか、急がなければならぬのだろうか。▼最近、やたらにデジタル関連の教室を導入しないかという勧誘の電話がある。ロボットを操作する技術を教えるとか、AIを使えるように指導するとかいうものである。良く理解できないが、幼児期からそんなことをするより、自然の中で、自由に遊ぶことが大切である。幼児期ほど、じっくり、ゆっくり育てたいものだ。子ども達と生活していると、遊びを通して、沢山の事を学んでいることを実感する。決して、スマホでは得られない体験をすることで、大きく成長している。急いではいけないのだと思う。

▼様々な研究で体験活動と社会性などとの関連が、指摘されている。体験を十分に積むことが成長に欠かせない。自然体験は、自己肯定感や社会性などと、文化的体験では、これらに加え、興味、関心や思いやりなどとともに、正の関連があることがわかっている。AIが活躍する社会での人間の強みは、感性や気づく力が、AIを使いこなすためには、環境に目を向け、自分で考え、自分で行動し、その結果に責任を持つ体験をすることが大切。日常生活の中でも、あらゆる場で体験することはできる。家庭のお手伝いでも、役割を果すことで責任感が育つ。褒められたり、叱られたりして生まれる感性や、気づきが大切である。親子でスポーツをしたり遊びを通して、認められることで自己肯定感を育む。

